

学校教育

☎教育委員会事務局学校教育係 ☎0943-32-0093

例年11月の教育週間に開催している「小中学生の意見発表」は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため中止となりました。代わりに各学校の代表児童生徒に夢や想いを語ってもらいましたのでご紹介します（一部省略）。

私の夢

上広川小6年 矢野彩咲陽さん

私は将来、フラワーコーディネーターになりたいです。この夢をもったきっかけは、親せきの結婚式や葬儀に行ったとき、飾ってあった花に心を動かされたからです。会場の花がとてもきれいだったのはもちろん、その花一つひとつの花言葉を調べると、本当にその会場に合う花が飾られていました。

幼いころから、水をあげるたびにどんどん大きききれいになっていく花を見るのが大好きでした。花に関する本や図鑑を集めたり、自分のノートに花の名前や原産地、開花時期、花言葉をくわしくわかりやすくまとめたりしています。いろいろ花のことを調べているうちに、フラワーコーディネーターという仕事に出会いました。私は心の中で「これだ」と叫び、夢が決まりました。それからその仕事内容やどうやったらなれるのかを調べました。そして、どんどん花のことで頭がいっぱいになってきました。今年の夏休みの自由研究には、花の

染色実験に取り組みました。

私は誰かに喜んでもらったり、誰かの幸せそうな顔を見たりするのが大好きです。誰かに何かをして喜んでもらえたとき、ものすごく達成感を感じて「してよかったな」「喜んでもらえてよかったな」と思います。誰かの幸せそうな顔を見るのが好きなのは、その人が幸せそうだと自分も幸せを感じるからです。

私はこれからも花の名前や花言葉について勉強し、覚えていきたいです。どのような行動をしたら人は幸せだと感じるのか、喜んでもらえるのかを知り、まずはまわりの友だちや家族を喜ばせることから始めていきたいです。



かなえたい私の夢

中広川小6年 宮奥遥乃さん

皆さんは、考えただけでワクワクする夢はありますか。私には特にワクワクする夢が2つあります。

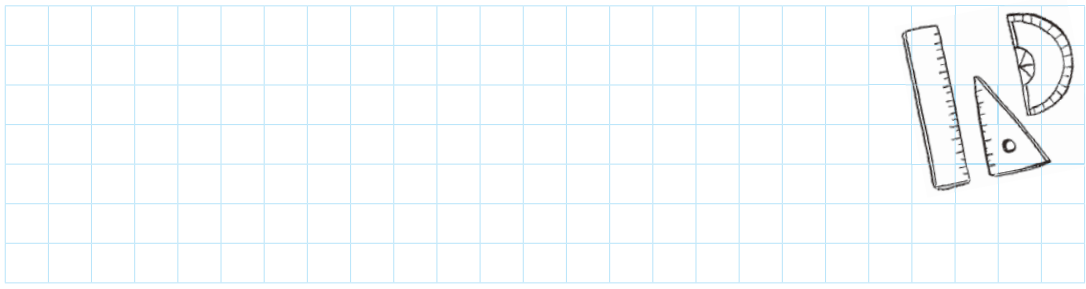
1つ目は、宇宙飛行士になることです。宇宙のことがかかれた雑誌を読んで「宇宙に行ったらどんな気持ちになるのかな」と思いました。宇宙での仕事は宇宙船の操縦や実験棟での実験、観察、修理などさまざまです。宇宙飛行士になるには、大学で宇宙・地球学や材料工学、環境学などを勉強しなければなりません。宇宙飛行士の星出さんは、受験資格年齢に達していないときから受験に挑戦し、3度挑戦した後にやっと宇宙飛行士候補になれたそうです。候補者に選ばれた後も語学の勉強や体力トレーニングをするなど、たくさん努力を続けたそうです。私も宇宙飛行士になるには、もっと体力をつけたり、英検で級をとったり、どの教科もしっかり勉強したりすることが大切だと思いました。

2つ目は、自分で宇宙食を作ることです。今は宇宙

食も進化していて、私たちが日常でよく食べるものが、宇宙でも食べられるようになっていきます。宇宙食に求められる条件は、まず安全なこと。砕けにくく、常温で長期保存ができ、食品も容器も燃えにくいものでなければいけません。調理が簡単でおいしいこと、栄養バランスがとれていることも大切です。宇宙食は、どれも宇宙飛行士が安全でおいしく食べられるように厳しい条件の元作られています。私も今のうちから宇宙食の特徴を調べようと思いました。

どんな夢でも努力をせずに実現できることはありません。「どうすれば実現できるか」「今からできることは何か」を考え、日々努力して、夢を実現したいです。





お母さんのように

下広川小6年 野田りぜさん



私はお母さんがきらいでした。遊んでいると妹の面倒をお願いされたり、お手伝いしているのに次のことを要求されたりして、お母さんにイライラすることが多かったからです。私は10人家族で、私を入れて8人の兄や姉、妹や弟がいます。お母さんが皆のお世話をすることは大変だとわかってはいても、面倒だなと思ってしまう自分がいました。

そんなあるとき「ごめんね、ありがとう」という本を読みました。その本は生まれることができなかった赤ちゃんが天使となってお母さんにメッセージを届ける本でした。生まれる前の赤ちゃんは、いろいろなお母さんを見て「このお母さんがいい!」と心に決めた人のお腹に宿るといってお話です。私は生まれる前からお母さんを選んでいたことに気づかされました。「ごめんね、ありがとう」の言葉は、お母さんと赤ちゃんがお互いに伝えあっている言葉でとても感動しました。よく考える

と、お母さんは私にお手伝いをお願いした後、必ず「りぜ、ありがとう」と温かい声をかけてくれます。自主学習ノートの進め方がわからないときはアドバイスしてくれたり、学校のことで悩んでいるときには私の目を見て話を聞いてくれたりします。そんなことを考えているうちに、私はお母さんから大切に育ててもらっていると感じるようになりました。

私は、どんなときも24時間家族のことを考えてくれているお母さんに感謝しています。だから、お母さんが困っているときはすぐに助けて、自分がイラッとしてもそんな顔を見せず、気持ちよくお手伝いしたいと思います。「ママを選んで生まれてきて、本当によかった」。今私は、お母さんが大好きです。

私の壮大な夏休み

広川中1年 池田莉央さん



私は、この夏にたくさんの経験をする事ができました。特に小さいころから続けてきた水泳で、全国大会に行くことができ、それが自分にとって大切な思い出となっています。

初めて見る全国の決勝の舞台は、私の目に焼きついていました。今まで休まず全力で泳ぎ続けてきた結果だと実感しました。全国大会に出場することは簡単なことではないし、たとえ参加できたとしても甘くはありません。私は過去に全国大会規模の試合の決勝で失格しました。ほかにも大切な試合で何度も失敗して、つまづいてきました。それでもあきらめずに水泳を続けてこの舞台に立てたのは、決して私一人の努力だけではないということを思いながら、レースに挑み続けたからだと思います。応援してくれる人や支えてくれている人たちへの感謝は結果で返そうと、毎日強く誓っていました。私は「がんばれ」の一言がとても力になります。その

言葉を聞くと、結果を残そうという気持ちは強くなり、自分の励みにつながります。

この経験から考えたことは「感謝」についてです。私は感謝の気持ちは結果で返すといいましたが、その感謝の気持ちをもっと表せないだろうかと自分の生活を振り返って考えました。そして、気づきました。感謝は言葉以外でも伝えられるということに。例えば、自分が使った水泳道具はきれいに片づけること。誰に対しても、きちんとあいさつをすること。そうすればいろんな人たちに感謝の気持ちは伝わるのです。

これからも私は人々に支えられていることに感謝して、あたりまえのことができるように意識しながら毎日を過ごしていきます。